

行政主導による 中心市街地の活性化とは

問 行政主導による伏見町地区および三之丸町地区の課題解決のための施策イメージは。

答 行政主導とは、再生ビジョンの策定を通して、駅前再生についての明確なメッセージを市民の

中学校給食の全面実施の予定は

問 中学校給食の全面実施に向けての今後のスケジュールは。

答 平成29年9月から東中学校をはじめ6中学校で給食実施の予定であり、実施率は、現在の25・7%から42・9%となる。また、平成30年4月の大門中学校での親

教職員の勤務状況は

問 教職員の勤務の現状と課題の改善策は。

答 機械警備開始時刻が一律に全教職員の退校時刻を示すものではないが、平成28年度を含めた3年間、小学校は平均でおおむね20時、中学校は21時となっております。

皆さまに伝えることと考えている。

このビジョンに基づき、例えば駅前を訪れた人々が憩い、集う広場のような良質な公共空間を整備し、民間が投資しやすい環境を整備することも行政主導の一つであると考えている。また勉強会などの対話の場づくり、まちづくり手法に応じた支援、規制緩和など行政の役割はさまざまあると考えている。子方式による実施に向け、親校となる野々浜小学校の給食室を、平成29年度中に大規模改修する予定。引き続き、安心・安全な給食を安定的に提供できるように、効率的・効果的な実施方式についても検討する中で、平成29年度において全体計画を策定し、完全実施に向けた取り組みを加速していく。

変化はほとんど見られない。

そこで、来年度からは新たに中・高等学校で平日の部活動休養日の設定、夏季休業中8月14日から16日までの間、全学校一斉閉庁毎月の一斉研修日を含め毎週1回以上の定時退校を実施することとしている。各学校においてもグループウェアを活用した情報共有の徹底による会議の削減や、作成し

た教材や文書の共有による作業時間の削減、出張時の直帰の促進など既に準備している。

新総合体育館の利活用は

問 ①全国規模の大会開催やプロスポーツの試合開催の考えは。

②芦田川との一体的な利用は。

答 ①新総合体育館は、全国的な大会やプロスポーツの開催が可能な規模・機能を有する施設として平成31年度中の供用開始を予定している。現在、完成後に誘致できる大会について各競技団体と個

に協議を行っており、バスケットボールの「Bリーグ」やバレーボールの「Vリーグ」、また日本卓球リーグなどの誘致について、積極的に取り組んでいきたいとの意向を示していただいている。

②新総合体育館の大きな特徴は、芦田川に面した立地と隣接する公園整備である。体育館本来の機能に加え、これらの特徴を最大限に生かした「福山らしい」体育館とするため、体育館、公園、河川敷を一体的に活用していきたい。

公明党



塚本 裕三

平成29年度予算は

問 市税収入の増減要因と内訳は。

答 主な増加要因は、給与所得の伸びで個人市民税が4億6000万円、家屋の新増築と償却資産の設備投資の増加により固定資産税が3億8000万円増加の見込み。減少要因は、製造業の減益や法人税率の引き下げにより法人市民税が2億5000万円減少の見込みであり、市税全体では、平成28年度予算と比べ8億5000万円の増加を見込んでいる。

放課後児童クラブ整備方針は

問 放課後児童クラブを適正

答 新たに約40クラブで教室の増設が必要と想定しており、施設に配置、運営するための課題は。